2026 年度遺伝カウンセリングコース事前面談試験問題

以下の課題について、パワーポイント（推奨）または配布資料を用い、時間内にプレゼンテーションを行ってください。

【課題】

発達遅滞の幼児について、ご両親の希望により染色体検査(G 分染法)を実施したところ、核型は正常でした。さらに追加で行ったマイクロアレイ染色体検査で、臨床症状とは関連が明確でないバリアントが検出されました。

1. 染色体検査の種類・目的を概説してください。また、症状と関連しないバリアントをどのように解釈するか簡潔に説明してください。
2. 結果説明の際、ご両親が抱く可能性のある心理的反応を挙げ、遺伝カウンセラーとしてどのように対応・支援すべきか考察してください。

＊ 事前面談試験に関する注意事項 ＊

1. プレゼンテーション時間は 15 分以内（厳守）

※例年は 2 題ですが、2026 年度は 1 題の中で 1)と 2)について 15 分でプレゼンテーションをお願いします。

2. 使用可能な資料

・パワーポイントスライドは 15 枚以内。

・配布資料（Word 等）は A4 サイズ 3 枚以内。

・使用するデータはこちらで予め PC に整理して準備しておきますので、◎月◎日(木)午後 0 時までに臨床遺伝学のアドレス （○○@juntendo.ac.jp）までに送付して下さい。(事前面談試験以外の目的では一切使用しません)

3. 課題内容に関する一切の質問は受けられません。

4. 当日の個別面談時間は出願登録（事前面談試験申し込み）後にメールで通知します。

※受験を希望される方は、事前に出願手続きが必須です。

詳細は大学院医学研究科 臨床遺伝学（遺伝カウンセリング）学位プログラムのページをご確認ください。